

美桜の心の声：

『この変態野郎！』

『匂いばっかり嗅いで』

『もうやめて、恥ずかしいから』

教師：

「美桜、おっぱい見せろ」

「ブラを外せ」

美桜：

「えっ、ブラですか？」

教師：

「逆らうのか？」

美桜：

「いえ、違います」

「脱ぎますから」

美桜、逆らってもしょうがなので、素直に従ってブラを外した。

そして、胸を両手で隠した。

教師：

「何隠してる」

「隠すな、ちゃんと見せろ」

「そうだ、それでいいんだ」

「綺麗なおっぱいだ」

「乳首も薄いピンク色で綺麗だ」

「やっぱり女子高生はいいなあ」

「触るぞ」

教師、美桜のおっぱいを両手でわしづかみにして揉んだ。

指で乳首を摘まんで刺激したり、

指で乳首をはじいて刺激したり、

指で乳首をカリカリしたりして、

徹底的に乳首を刺激した。

やがて美桜、感じて来て、息が荒くなり、

喘ぎ声を出した。

教師：

「美桜、お前、感じてるのか？」

「気持ちいいか？」

「その顔、その声、綺麗だぞ」

「美桜、イケ、イクんだ、イケ」

教師、更に乳首を刺激して責める。

やがて、美桜、イッてしまう。

教師：

「美桜、イッたのか？」

「イッたんだな」

「いいぞ、可愛いぞ」

「美桜、下はどうなってるんだ」

「触るぞ」

教師、美桜の制服のスカートをめくり、パンツを指で触った。